

問1 人権の性質

問 次の1～4は、何について説明したものか。


1. 人間が人間であるという理由だけで人権が認められるという**人権の性質**
2. 人種、性別、身分、宗教などに関係なくすべての人間に人権が認められるという**人権の性質**
3. 自分にとって善き人生の目標を決定し、それを実現しようとする**人間の能力**
4. 憲法13条前段が定める**憲法の基本原則**

2011/4/7

プレスト・確認テスト

1

問2 人権の分類

審査基準	人権の類型	人権の例
 厳格 緩やか	[1]な精神的自由権	思想・良心の自由 信仰の自由
	[2]な精神的自由権	信教の自由 表現の自由 学問の自由
	[3]自由権	職業選択の自由 財産権
	[4]権的基本権	[4]権 教育を受ける権利 労働基本権

2011/4/7

プレスト・確認テスト

2

問3 公共の福祉

問 空欄に適切な語句を、漢字2字で入れなさい。

1. 人権の[1]が生じた場合、公共の福祉に基づき、その調整に必要な限度で人権が制約される。これは、すべての人に平等に人権が保障されるという、人権の性質に由来する制約であり、[2]的制約と呼ばれる。
2. 一元的[2]的制約説は、「公共の福祉」を明示する憲法22条・29条を[3]の規定と解釈する。[2][4]二元的制約説は、これらの規定を[4]的制約を認めた規定と解する。

2011/4/7

プレスト・確認テスト

3

問4 プライバシー権

問 次の1～4の下線部に明らかな誤りがある。正しい語句に直しなさい。

1. ブランダイスらは、プライバシー権を**秘密を暴露されない権利**と定義した。
2. プライバシーの権利は、**憲法21条**によって根拠づけられる。
3. 『宴のあと』事件の地裁判決は、**憲法上**の権利としてプライバシー権を承認した。
4. 京都府学連事件最高裁判決では、警察官による**無断の指紋採取**がプライバシー侵害に当たるか否かが問題とされた。

2011/4/7

プレスト・確認テスト

4

問5 法の下の平等

問 空欄1～4に適切な語句を記入しなさい。

1. 絶対的平等がすべての人に対する均一な取扱いを求めるのに対して、[1] 平等は、等しきものは等しく扱うよう求める。後者の平等では、人を区別して扱うこと自体を禁止するものではない。
2. 機会の平等は、すべての人に平等に機会を保障する形式的平等である。しかし、それぞれの人が置かれている具体的な社会状況に特別に配慮して、公平な取扱いを行おうとするのが、[2] な平等である。このような意味の平等を実現するために国がとる施策は、積極的差別是正措置(策)と呼ばれている。
3. 法の下での平等は、法の公正無私な適用を求める法適用の平等を求めるだけでなく、国に対して不合理な差別を含まない法の制定を求める[3] の平等を要請する。したがって、憲法14条の平等の要請は、立法者をも拘束する。また、同条1項後段は、差別が禁止される事由を列挙しているが、通説・判例によれば、これは[4] の意味に解される。

2011/4/7

プレスト・確認テスト

5

問6 思想・良心の自由

問 空欄1～4に当てはまる適切な語句を書きなさい。

1. 思想・良心の自由として保護される範囲については、これを広義の解する説と、狭義に解する説とが対立している。前者は、[1] 説と呼ばれ、個人の[1]における精神活動を広く保護の対象としようとするものである。これに対して、後者は、信条説と呼ばれ、宗教的な信仰のように個人の人格の核心をなすような、信条や[2]、主義といったものに保護の範囲を限定する。この解釈上の対立は、謝罪広告事件の最高裁判決における各裁判官の意見の対立にも現れている。
2. 多数意見は、単に事態の真相を告白し[3]の意を表明するに止まる程度のものにあつては、これが強制執行も代替作為として民訴733条の手続によることを得るものといわなければならないとする。
3. 反対意見は、憲法19条にいう「良心の自由」とは単に事物に関する[4]の[1]的自由のみならず、かかる[4]の判断に関する事項を外部に表現するの自由並びに表現せざるの自由をも包含するものと解すべきとする。

2011/4/7

プレスト・確認テスト

6
